

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	260万8	245万2	348～349

【教育総務課】

○教育委員会

定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を2回開催した。定例教育委員会のうち4回は、傍聴者に配慮して公民館等で開催した。(島原文化会館1回、有明総合文化会館2回、杉谷公民館1回)

【議案審議の状況】

区 分	教育委員会開催回数		審議議案件数
	定例会	臨時会	
件 数	12	2	57



<定例教育委員会>

教育委員の自己研鑽として、研修会への参加及び先進地への視察研修を行った。

- ・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（大村市）に参加し、また、11月18日開催の長崎県市町村教育委員会研究大会（佐世保市）に参加し、分科会ごとのテーマに沿って各市町教育委員と意見交換を行った。
- ・平成29年1月に平成28年度市町村教育委員研究協議会に出席するとともに、「コミュニティスクール」をテーマに佐賀県の佐賀市立赤松小学校及び佐賀市立嘉瀬小学校の先進地視察を行った。

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	2	事務局費	2億9,230万1	2億8,405万0	348～357

【教育総務課】

○第2期島原市教育振興基本計画策定 74万1千円

平成23年度に策定した第1期の島原市教育振興基本計画の成果と課題や今日の教育を取り巻く社会の動向などを踏まえ、平成29年度から今後5年間の取り組むべき施策を示した、第2期の島原市教育振興基本計画を策定した。

なお、策定にあたっては、国や県の第2期教育振興基本計画を参酌し、島原市教育大綱及び第6次島原市市勢振興計画（平成27年度中間見直し後）との整合性を保ちながら、公募委員を含めた各分野の外部有識者による検討委員会（4回開催）で議論を重ね施策の具現化を図った。

また、計画に性実効性を持たせるため25項目の数値目標（成果指標）を設定した。



【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展 77万1千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第38回目）を開催した。

- ・平面の部及び立体の部 出品数269点
- ・北村西望賞 6人
- ・奨励賞 18人

○小・中学校学力向上対策事業 434万円

全国学力・学習状況調査及び県学力調査に加え、学力の新たな検証軸として市独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために実施した。

また、教職員の授業力改善を図るために教育講演会、先進地視察を実施した。

成果として、下記の事項があげられる。

- ・全国学力・学習状況調査及び県学力調査の前学年において市学力調査を実施したことで、市全体また学校別の学力の定着状況、課題を把握することができた。
- ・全国学力・学習状況調査においては、小学校算数Aが3年連続全国平均を上回った。
- ・小学校国語A、小学校算数Bは全国平均に達した。
- ・中学校は、前年度よりも平均正答率が上がり、全国平均との差が縮まった。
- ・明確になった課題の改善に向けて、個に応じた学習に取り組むことができた。
- ・授業改善のための先進地の取組を知ることができた。

具体的実践事項

- ・市学力調査実施
小2～小4・中1…国語、算数、数学
- ・問題データベースの導入
小学校…国語・算数、理科、社会
中学校…国語・数学、英語
- ・島原市教育講演会への講師招聘
第20代文部科学大臣 馳 浩 氏
- ・先進地視察 9月27日～9月29日
秋田県東成瀬村立東成瀬小学校・中学校…指導主事、校長、教頭、教諭等 18人
- ・NIE 実践指定
長崎県NIE 実践指定を受け、公開授業を行った。 2月8日（水）

学校名	研究テーマ	備考
第三中学校	確かな学力と道徳的実践力を高める教育活動を通して (NIE)	28～29年度 1年目

○外国語指導助手招致事業 1,671万9千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1回程度外国語指導助手との授業を実施した。小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。また、月1回ALT研修会を開催し、指導力の向上に努めた。

- ・外国語指導助手 4人

氏名	母国	任期
Blanchet Mathieu (ブランシェット マシュー)	カナダ	2016. 8. 3～2017.8. 2
Klock Irene (クロック アイリーン)	U. S. A.	2016. 8. 1～2017.7. 31
Engler Paul (エングラール ポール)	U. S. A.	2016. 8. 1～2017.7. 31
Elliott Chase (エリオット チェイス)	U. S. A.	2016. 8. 3～2017.8. 2

○中学生海外訪問交流事業 319万7千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設やジオパークの見学及び現地中学生との交流活動を通して、英語学習への興味、関心を高めさせるとともに国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うため実施した。訪問地は海外のジオパークを研修することもあり、協力協定を結んでいる香港とした。参加者は14人の市内中学3年生で、経費の一部には参加生徒の保護者負担（3万円×14人）、長崎県市町村振興協会の国際交流支援事業補助金（187万8千円）を活用した。また、今回は訪問先を在香港日本国総領事館とJALに変更した。

訪問した生徒は、本事業を自身の今後の目標や進路に活かしていくことを述べている。

・ 活動状況

期 日	内 容
6月24日(金)	第1回事前研修会
7月7日(木)	第2回事前研修会
7月19日(火)	第3回事前研修会
7月22日(金)	出発式
7月26日(火) ～ 7月30日(土)	香港滞在 香港ジオパーク学習・見学・交流、企業訪問(香港 JAL)、 香港日本人学校中学部訪問・交流、在香港日本国総領事館表 敬訪問、ビクトリアパーク・レパルスベイ、スタンレーマ ーケット、黄大仙、市内見学など
8月26日(金)	報告会



○不登校児童生徒適応指導事業 218万1千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行った。

・適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2人

開室日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

・平成28年度小中別不登校児童生徒数

(単位：人)

区 分		男子	女子	計
不登校児童生徒	小学校	2	2	4
	中学校	9	15	24
	計	11	17	28
ひまわり教室通級者数	小学校	0	0	0
	中学校	2	6	8
	計	2	6	8

・不登校児童生徒数の推移

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
小学校	人数(人)	4	4	4	7	2	6	4
	割合(%)	0.15	0.15	0.15	0.28	0.08	0.25	0.13
中学校	人数(人)	24	23	15	25	29	28	24
	割合(%)	1.65	1.69	1.06	1.78	2.05	2.17	1.88
人数計(人)		28	27	19	32	31	34	28

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があったもの)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	1億3,153万7	1億2,454万0	356～361

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 1,553万4千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全の確保に努めた。

○学校管理備品購入費 634万1千円

児童用机・イスほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品目	学校名	金額 (円)
児童用机・イス	一小・三小・四小	1,382,400
行事用備品	三会小・長貫分校・大三東小	220,104
学校家具類	二小・三小・四小・五小・大三東小・高野小	1,345,248
ポスタープリンター	三会小	385,560
パソコン	四小	324,000
学校図書システム	湯江小	485,460
特別支援学級用	一小・五小・高野小	728,676
その他	—	1,469,572

○育友会補助金 203万円

各小学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

$$20,500円 \times 11月 \times 9校 = 2,029,500円$$

○校庭芝生化学業 33万4千円

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。小学校よりモデル校を選定して、地元住民が主体となって校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。
- ・実施小学校 第四小学校
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 四小：芝が剥がれている箇所へ苗移植作業、施肥、芝刈、水やり（適宜）

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	6,994万4	6,539万3	360～365

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 85万1千円

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額 (円)
体育備品	一小・二小・高野小	291,600
楽器その他音楽用	二小・三小・五小・三会小	559,400

○備品購入費（理科教育設備整備） 89万6千円

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：顕微鏡、実験用具等

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（小学校） 76万4千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 一小、三小
国立諫早少年自然の家 二小、四小、五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 一小、三小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
2泊3日 二小、四小、五小
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、星空ウォッチング等

○学校司書配置事業（小学校） 586万2千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各小学校に学校司書を1人配置（計9人）
- ・1日6時間の週3日配置

貸し出し冊数(1人平均)推移 (H26) →(H27) →(H28)
160.7 160.7 170.4

○学習支援員事業 637万9千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・小学校8校に支援員を1人、小学校1校に2人配置（計10人）
- ・1日5時間の週5日配置

○幼児ことばの教室設置事業 80万1千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害の改善及び克服を行った。

- ・第二小学校に支援員を1人配置
- ・概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行った。

○指定研究校補助金 105万円

毎年、小学校の4～5校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって、成果を上げることができた。

平成28年度小学校研究指定校（4校）

学校名	研究テーマ	備考
第二小学校	「文章を正しく読み取り、自分の思いを分かりやすく伝える子どもの育成」 (国語科)	27～29年度 2年目
第三小学校	「すべての児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業を目指して」 (国語科)	28～30年度 1年目
第四小学校	「自ら考え、学び合い、高め合う子どもの育成」 (算数科)	26～28年度 3年目
大三東小学校	「確かな読み取りをもとに考え、生き生きと伝え合う子どもの育成」 (国語科)	28～30年度 1年目
湯江小学校	「自ら学び、できる喜びを持てる子どもの育成」 (国語科)	26～28年度 3年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 32万5千円

情報通信技術（ICT）の活用を通して教育の質の向上を図るため、書画カメラ（実物投影機）を購入した（小学校7台）。



○就学援助費 2,086万4千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

・学用品費	372件	515万3千円
・社会科見学活動費	47件	11万1千円
・校外活動費	53件	14万9千円
・修学旅行費	51件	97万9千円
・医療費	186件	89万0千円
・学校給食費	328件	1,352万9千円
・通学費	1件	5万3千円

準要保護状況

		28年度	27年度
認定者数	小学校	316人	310人
	中学校	208人	208人
	計	524人	518人
認定率	小学校	13.90%	13.25%
	中学校	16.26%	16.15%
	計	14.75%	14.28%

※年度末時点の数値

(小中学校合計額)

品目	金額(千円)	一人当たり (円/年)
学用品費	11,504	21,584
社会科見学活動費	111	2,371
校外活動費	284	2,509
修学旅行費	4,178	36,652
医療費	1,213	5,097
学校給食費	23,598	43,945
通学費	53	53
計	40,941	—

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	1億2,924万8	4,242万4	364~367

【教育総務課】

○工事請負費 2,491万9千円

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

工事請負費内容

学校名	工事名称	金額(円)
第一小学校	第2校舎普通教室床張替工事	5,400,000
	第2校舎避難器具取替工事	453,600
第二小学校	自動火災報知設備工事	378,000
	非常用放送設備工事	205,200
	プール濾過機取替工事	9,231,840

第五小学校	自動火災報知設備工事	1,193,400
	非常用放送設備工事	777,600
三会小学校	コンクリート落下防止用ネット設置工事	1,544,400
高野小学校	国旗・校旗掲揚台取替並びに市旗掲揚台新設工事	537,840
湯江小学校	新校舎玄関出入口ハンガードア改修工事	523,800
	自動火災報知設備工事	872,640
	屋内消火栓ポンプ取替工事	3,800,520

<三会小学校コンクリート落下防止用ネット設置工事>



(着工前)



(完成)

<第二小学校プール濾過機取替工事>



(着工前)



(完成)

○非構造部材耐震化事業 設計業務委託料 464万4千円

・小・中学校の校舎・体育館の構造体の耐震補強工事は平成24年度で完了し、体育館非構造部材の耐震化も平成27年度で完了した。また、平成28年度からは校舎の非構造部材の耐震化に取り組んだ。

小中学校の耐震化等の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		小学校	中学校	計	県内	全国
耐震化率	27年度	100.0%	100.0%	100.0%	96.8%	98.1%
	28年度	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	98.8%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	8,516万0	8,105万7	366～371

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 840万4千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費 232万3千円

学校家具類、行事用備品ほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額（円）
学校家具類	三会中・有明中	431,352
行事用備品	三中・三会中	284,904
学校図書システム	三会中	485,460
デスク用補助棚	有明中	270,000
体育館暗幕カーテン	三会中	156,600
その他	—	694,656

○育友会補助金 112万8千円

各中学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

20,500円×11月×5校＝1,127,500円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	6,529万0	6,184万7	370～375

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 154万円

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額 (円)
楽器	一中・三中・三会中	1,054,080
体育用品	三中	486,000

○備品購入費（理科教育設備整備） 58万4千円

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：顕微鏡、実験用具等

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 121万円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施中学校 全5校
- ・活動場所 県立千々石少年自然の家 一中、二中、三中、三会中、有明中
- ・日 程 1泊2日
- ・活動内容 星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯 等

○学校司書配置事業（中学校） 326万円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各中学校に学校司書を1人配置（計5人）
- ・1日6時間の週3日配置

貸し出し冊数(1人平均)推移 (H26) →(H27) →(H28)

16.4 20.1 21.0

○学習支援員事業 310万8千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・各中学校に支援員を1人配置（計5人）
- ・1日5時間の週5日配置

○中高教育交流事業 8万円

「^{いのち}生命」の教育の施策の一つとして、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。羊の飼育から試食までを一貫して生徒の体験活動を実施することで、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

連携校 島原市立三会中学校 県立島原農業高等学校

対象学年・生徒数 1年生 38人

期 日	授業内容	場 所
5月27日(金)	学習のねらいと計画、当番の活動説明	三会中学校
6月 7日(火)	羊との対面式、毛刈り体験	三会中学校
7月 4日(月)	羊についての学習会	三会中学校
8月 9日(火)	羊とのお別れ式	三会中学校
9月下旬～	三会中発表会に向けて	三会中学校
10月28日(金)	三会中発表会	三会中学校
1月27日(金)	調理実習試食	三会中学校
1月27日(金)	まとめのレポート	三会中学校

○心の教室相談事業 309万4千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

(相談員の職務)

- ・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
- ・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
- ・その他、学校教育活動の支援を行う。

(心の教室相談員 配置数)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
配 置 数	各中学校に1人	各中学校に1人	各中学校に1人	各中学校に1人

(相談者の数)

	1年		2年		3年		合計	
性別計	男 164	女 103	男 111	女 254	男 377	女 470	男 652	女 827
計	267		365		847		1,479	

- ・心の教室相談員等連絡協議会を2回開催した。

○指定研究校補助金 21万円

毎年、中学校の2～3校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って3年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

平成28年度中学校研究指定校（1校）

学校名	研究テーマ	備考
有明中学校	「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 (学力向上)	27～29年度 2年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 83万6千円

情報通信技術（ICT）の活用を通して教育の質の向上を図るため、書画カメラ（実物投影機）を購入した（中学校18台）。



○就学援助費 2,007万8千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

- ・学用品費 272件 635万2千円
- ・校外活動費 60件 13万5千円
- ・修学旅行費 63件 319万9千円
- ・医療費 52件 32万3千円
- ・学校給食費 209件 1,006万9千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	1,490万0	1,359万1	374~375

【教育総務課】

○工事請負費 877万8千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

工事請負費内容

学校名	工事名称	金額 (円)
第一中学校	体育館前門新設工事	1,250,640
	職員室エアコン取替工事	1,879,200
	教室前廊下流し台設置工事	1,944,000
第三中学校	消防設備改修工事	259,200
	廊下研磨ウレタン塗装工事	561,600
三会中学校	消防設備改修工事	1,477,440
	各教室床部分補修工事	1,192,320
有明中学校	避難器具改修工事	213,840

<第一中学校 体育館前門新設工事>



(着工前)



(完成)

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	1億4,715万8	8,471万0	376~389

【社会教育課】

○全国子守唄フェスタ経費 10万5千円

子守唄を持つ全国7市村の首長の会議と保存団体による発表会へ参加した。平成28年度で終了。平成28年度開催地：熊本県天草市

○市民文化講座経費 4万円

第210回市民文化講座「能・狂言の魅力」	参加者数 72人
第211回市民文化講座「歴史から学ぶ防災」	参加者数 53人

○梅林俳句会経費 1万9千円

参加者数	52人
------	-----

<市美術展>



○市美術展経費 44万3千円

出品者数	267人
出品点数	434点
入場者数	1,332人

○自主事業運営経費 496万9千円

芸術性の高い優れた舞台芸術や人気アーティスト等に接する機会を設けるため、公演事業を実施し、市民の文化の向上に努めた。また、子どもたちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催した。

- ・島原文化会館 大ホール1, 202席

公演名	入場者数
黒田月水土佐琵琶演奏会 [※公募型]	215人
劇団前進座公演「怒る富士」	640人

- ・有明文化会館 大ホール700席

公演名	入場者数
島原ダンスフェスティバル [※公募型]	632人
ひょっこりひょうたん島オンステージ	530人

- ・肥前島原子ども狂言

期 間	参加者数
5月から10月まで(計12回)	43人



○市民音楽祭経費 112万7千円

部 門	入場者数
洋楽の部	657人
小中学生の部	2,578人
邦楽の部	484人

○社会教育指導研修経費 1,047万7千円

社会教育を推進するため、社会教育委員会議の開催、各種研修会への参加、社会教育関係団体の育成等を行った。

○文化財経費 1,191万3千円

指定文化財の保護と活用、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、松平文庫の公開・修復・マイクロフィルム化等を行った。

- ・文化財数 国指定5 国登録17 県指定11 市指定78
- ・松平文庫 来庫者数 341人
マイクロ撮影数 201点(13,689コマ)
- ・薬草園 入場者 1,381人

○伝統的建造物群選定事業経費 18万7千円

鉄砲町重要伝統的建造物群保存地区（仮称）の選定を目指し、関係地区住民を対象に制度の周知を図った。

- ・関係町内会説明会 6人
- ・伝建に関する学習会 14人
- ・先進地視察研修（肥前浜宿、神代小路） 17人
- ・文化庁調査官を招いての説明会 73人

○旧島原藩薬園跡整備事業費 259万1千円

薬園利用者の利便性向上のために駐車場案内板を設置した。

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めた。



< 駐車場案内版 >

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費 285万3千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

- ・埋蔵文化財発掘調査 8遺跡

○島原藩主深溝松平家墓所調査事業経費 1,615万5千円

松平家墓所の墓碑立面図を作成した。

○三会原第3地区発掘調査事業経費 1,890万円

三会原第3地区区画整理事業に伴い、下油堀遺跡の発掘調査を実施した。

○公民館学級運営費 397万5千円

市民の需要に応じた各種講座・学級を開設した。

- ・三会公民館学級運営費 65万3千円
- ・杉谷公民館学級運営費 47万4千円
- ・森岳公民館学級運営費 50万6千円
- ・霊丘公民館学級運営費 66万1千円
- ・白山公民館学級運営費 65万1千円
- ・安中公民館学級運営費 42万9千円
- ・有明公民館学級運営費 60万1千円

・28年度学級実績

学級名	学級数	実施回数	参加人員 (延べ)
青年教室	1学級	4回	31人
女性学級	10学級	87回	1,911人
家庭教育学級	7学級	56回	8,606人
高齢者学級	7学級	62回	2,212人

○放課後子ども教室推進事業経費 306万1千円

- ・夏休み中に公民館において、「スクールキッズ」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

7月28日～8月5日 (各4日間) 全7地区公民館 延べ参加人員313人

- ・市内全小中学校において、「放課後子ども学習室」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

4月～3月 (長期休暇中を除く)

延べ実施日数1,466日 延べ参加人員24,200人

○通学合宿支援事業経費 14万9千円

子どもたちがたくましく生きる力を育むため、小学校区単位で3年生から6年生までを対象として、3泊4日の通学合宿を公民館等で実施した。

- ・実施回数 7回
- ・参加者数 131人

○地域・家庭教育力活性化推進事業費 12万3千円

地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

- ・健康教育講座 開催数 15回 参加者 585人
(回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲)
- ・思春期子育て講座 開催数 4回 参加者 862人
(回数及び人数は、家庭教育学級の再掲)

○成人式経費 36万1千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。

- ・開催日 1月3日
- ・出席者 461人

○少年センター運営経費 578万1千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために、補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施した。

※平成28年度実績

- ・補導件数 29件
- ・相談件数 21件
- ・白ポスト回収 423点

<島原市少年センター補導委員会>



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	4	2	公民館費	1億4,064万2	1億2,509万9	388~403

【社会教育課】

○公民館運営費 6,806万2千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行った。

平成28年度公民館利用状況 (平成28年4月~平成29年3月)

	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	109	5,592	443	12,428	1,912	11,361	335	4,752	2,799	34,133
三会	67	2,161	173	7,960	466	3,569	226	7,548	932	21,238
杉谷	69	1,609	312	4,621	868	11,116	353	8,054	1,602	25,400
森岳	120	5,768	725	11,738	1,176	10,401	651	15,875	2,672	43,782
霊丘	65	2,724	394	6,909	1,265	13,936	336	6,165	2,060	29,734
白山	91	2,474	187	5,176	1,336	15,619	186	6,686	1,800	29,955
安中	122	2,865	180	7,055	540	5,425	160	4,836	1,002	20,181
計	643	23,193	2,414	55,887	7,563	71,427	2,247	53,916	12,867	204,423

主な施設整備

- ・安中公民館高架水槽取替工事 175万7千円
- ・森岳公民館ベランダ手すり修繕 164万0千円
- ・杉谷公民館給水ポンプ修繕 86万4千円

○白山公民館太陽光発電設備等整備工事 2,026万9千円

避難所や防災拠点としての機能を維持・強化させるため、国の補助事業を活用して太陽光発電設備を整備した。

設計 124万2千円、施工管理 75万6千円、工事費 1,827万1千円



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	6,837万8	6,837万2	402~405

【社会教育課】

○図書館運営経費 6,837万2千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託している。

○図書館指定管理料 5,642万6千円（図書館運営経費の再掲）

・島原図書館

開館日数	288日	登録者数	50,360人
利用者数	33,865人	貸出冊数	153,021冊
蔵書数	120,523冊	視聴覚資料	4,696点

自主事業

おはなしひろば、おはなしのじかん、おはなしのじかん0. 1. 2、郷土史を学ぼう会、映画会、七夕まつり、夏休み工作教室、夏休み科学教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会、かるた大会、手作り講座（布の絵本づくり、こけ玉作り、クリスマスリース作り、かるた会等）、読書感想画展を実施した。

・有明図書館

開館日数	287日	登録者数	50,360人
利用者数	13,958人	貸出冊数	77,160冊
蔵書数	72,633冊	視聴覚資料	1,279点

自主事業

ちいさなおはなし会、おはなしのじかん、こんねクイズ、夏休み工作教室、夏休み映画会、図書館まつり、子ども向け講座「えいごであそぼう」、大人向け講座「バック作り」を実施した。



<こけ玉づくり>



<えいごであそぼう>

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	9,364万3	8,524万3	404~407

【社会教育課】

○文化会館運営経費 8,524万3千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

施設の整備については、島原文化会館においては、ワイヤーロープ改修工事、歩道改修工事等を行ったほか、デマンドコントロール装置を設置し経費削減に取り組んだ。また、有明文化会館においては、多目的ホール空調修繕、消防設備不良箇所の補修、外構タイルの修繕等を行った。

○島原文化会館 指定管理料 3,307万8千円（文化会館運営経費の再掲）

開館日数	312日
利用人数	81,320人
利用回数	813回
自主事業	こども絵画教室、島原音フェス2017、島原新春寄席の開催

○有明文化会館 指定管理料 3,105万1千円（文化会館運営経費の再掲）

開館日数	310日
利用人数	61,404人
利用回数	1,721回
自主事業	有料及び無料の映画会、ダンス教室、フラワーアレンジメント教室の開催



<デマンドコントロール装置>



<外構タイルの修繕>

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	4,848万8	4,356万5	406～409

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費 298万9千円

本市児童・生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図った。また、例年に比べ、中学校体育連盟の九州、全国大会に多くの生徒が出場した。

- ・部活動消耗器材費 893千円
- ・中学校部活動充実費 307千円
- ・部活動運営費補助金 1,789千円

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 534万5千円

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施した。

- ・児童・生徒検診（結核、心臓、蟯虫、尿、小児成人病予防） 3,084千円
- ・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿） 2,261千円

○小学校フッ化物洗口推進事業 54万9千円

う歯予防及び低減に向けて、全小学校においてフッ化物洗口を実施した。

- ・消耗品費（洗口用紙コップ代他） 181千円 （実施率）H27年度 30%
- ・医薬材料費（洗口用薬剤代） 368千円 （実施率）H28年度 100%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	2億2,197万2	2億2,048万7	408～419

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝大会 1,890万8千円

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として認知度を高め、島原半島ジオパークはもとより魅力ある島原の情報を広く県内外に発信した。

参加チーム

男子	女子	合計
33チーム	17チーム	50チーム



○「夢の教室」公演事業 297万円

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図った。

〈開催実績〉

開催校：9校 学級数：15学級 「夢の先生」：7人



○島原市民体育祭 296万3千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催した。

出場者数

市民体育祭大運動会出場者	平成28年10月 9日	2,904人
市民体育祭各種競技会 (22 競技)	平成28年10月 2日 ※一部競技は別日程	2,178人



○その他スポーツ大会

開催状況

区 分	期 日	対 象	参 加 者
市民親睦サッカー大会	4月10日	一 般	286人
市民親睦ソフトバレー大会	7月24日	一 般	150人
少年軟式野球大会	11月 3日	中 学 生	60人
少年ソフトボール大会	12月10日	小 学 生	240人
市民親睦テニス大会	12月11日	一般・高校生	74人
市民親睦バドミントン大会	2月19日	一 般	80人
市民親睦卓球大会	2月26日	一 般	111人
市民親睦ソフトボール大会	3月12日	一 般	133人



○ジュニアスポーツ振興事業 138万4千円

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に伴う事業の一環として、小・中学生を日本体育大学に派遣し、トップレベルの指導者や選手から講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上を図った。

また、青少年期における望ましい指導を、指導者を対象に日本体育大学から講師を招き講習会を行い、指導者の資質向上を図った。

さらに、日本体育大学の指導を受け作成した「しまばら体操」の普及のため市民を対象に伝達講習会を実施した。

〈開催実績〉

- ・しまばら体操伝達講習会（講師：日本体育大学体育学部 教授 荒木達雄 氏）

開催期日 平成28年7月24日（日）

対象者 小中高校、スポーツ推進委員、婦人会、幼稚・保育園、デイケアセンター、病院、福祉団体 等他市内事業所

参加人数 156人

- ・小・中学生派遣事業

研修期間 平成28年7月26日（火）～7月29日（金）

研修場所 学校法人日本体育大学（世田谷キャンパス、健志台キャンパス）

参加人数 20人

- ・スポーツ指導者研修会（講師：日本体育大学児童スポーツ教育学科 准教授 伊藤雅充 氏）

開催期日 平成29年2月5日（日）

対象者 スポーツ少年団指導者、中学・高校運動部活動指導者及び外部指導者、スポーツ推進委員

参加人数 119人

研修内容 講演「子供の可能性を広げるコーチング～やる気を起こす練習メニューの作り方～」



伝達講習会



小・中学生派遣事業



指導者研修会

○有馬スポーツ賞 51万1千円（団体7、個人14、副賞98）

・有馬スポーツ賞受賞状況

小学校		中学校		合計	
個人	団体	個人	団体	個人	団体
5人	4団体	9人	3団体	14人	7団体



○体育施設指定管理料 1億2,741万3千円

多様化する民間ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、積極的に利用を促進し、健康増進及びスポーツの振興を図った。

施設名	指定管理料	委託先
島原復興アリーナほか	4,477万9千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
体育館・弓道場ほか	4,097万2千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
陸上競技場ほか	1,174万3千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
有明プール	1,698万0千円	(株)しまばらウェルネッサンス
平成町人工芝グラウンド	1,293万9千円	(一社)長崎県サッカー協会

* (一財)：一般財団法人，(一社)：一般社団法人

○体育施設整備費 1,576万円

各体育施設の補修工事や整備を行い、利用者が安心・安全・快適に使用できるよう環境整備に努めた。

各施設の主な工事状況

工事名	金額
市営球場芝張替工事	1,576万0千円

※平成27年度～28年度事業 総事業費：2,464万4千円



【市営球場芝張替】

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	1億7,129万8	1億7,008万2	418～421

【学校教育課】

○学校給食経費 1億7,008万2千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図った。

- ・学校給食業務委託料（1億1,355万円4千円）
- ・学校給食配送業務委託料（1,328万4千円）
- ・その他委託料（523万5千円）
- ・消耗品費（993万7千円）

・安全及び衛生管理の徹底を図った。

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年3回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年2回（6納入業者）
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月2回

・学校給食の充実を図るため、研修会等を行った。

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（隔月）	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

・完全給食実施状況

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	二小 227 一中 373	三小 265 二中 238	一小 456 四小 202 三会小 254 長貫分校 12 三会中 124	五小 318 三中 188	大三東小 236 高野小 75 湯江小 225 有明中 356
合計	600	503	1,048	506	892
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
11	2	1	土木施設災害 復旧費 (補助)	2,317万2	1,157万7	422~423

【道路課】

○土木施設災害復旧費 1,157万7千円

・27年災繰越 (2件)

平成27年8月25日台風15号により、市道路肩が崩壊した為、災害復旧工事を行った。

一野・松ノ沢線道路災害復旧工事 工事延長 L=10m コンクリートブロック積 A=36 m²
工事費 1,153 千円

山之内上・栢山線道路災害復旧工事 工事延長 L=18m コンクリートブロック積 A=87 m²
工事費 4,636 千円

・28年災 (3件)

平成28年6月18日~7月5日の梅雨前線豪雨により 市道路肩が崩壊した為
災害復旧工事を行った。

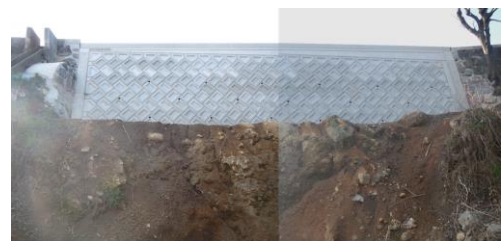
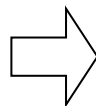
蓮輪線道路災害復旧工事 工事延長 L=10m コンクリートブロック積 A=28 m²
工事費 1,814 千円

山之内上・栢山線道路災害復旧工事 工事延長 L=10m コンクリートブロック積 A=21 m²
工事費 1,335 千円

釘崎・栢山線道路災害復旧工事 工事延長 L=6.5m コンクリートブロック積 A=42 m²
工事費 2,639 千円

【復旧前】

【復旧後】



蓮輪線道路災害復旧工事

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
12	1	1	元金	19億6,756万2	19億6,756万2	424~425

【総務課】

○長期債元金償還金 (定期償還) 19億6,756万2千円

市債に係る元金の償還を行った。

借入先	償還額 (単位:円)
財務省理財局	684,537,003
日本郵政株式会社	223,439,073
地方公共団体金融機構	547,066,924
十八銀行	115,602,000
親和銀行	92,136,000
信金中央金庫	77,322,000
たちばな信用金庫	52,776,000
島原雲仙農業協同組合	66,666,000
市町村振興協会	65,510,000
その他	42,506,500
合計	1,967,561,500

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
12	1	2	利子	2億391万4	1億7,898万9	424~427

【総務課】

○長期債利子償還金 (定期償還) 1億7,879万8千円

市債に係る利子の償還を行った。

借入先	償還額 (単位:円)
財務省理財局	78,411,260
日本郵政株式会社	13,017,437
地方公共団体金融機構	66,330,494
十八銀行	4,513,064
親和銀行	5,054,191
信金中央金庫	2,815,179
たちばな信用金庫	1,387,236
島原雲仙農業協同組合	2,917,351
市町村振興協会	2,403,883
その他	1,947,628
合計	178,797,723

○一時借入金利子 19万1千円

現金が不足した際に借り入れた一時借入金の利子の償還を行った。

